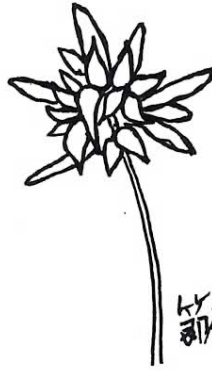


すんぽうは



新種(変花)の種
2014 年

夢多きもの理想あり 理想あるもの信念あり
信念あるもの計画あり 計画あるもの実行あり
実行あるもの成果あり 成果あるもの喜びあり
喜びあるもの幸多し

無茶々園訓

西予市：明浜

凄い人たちに出逢う幸せ！

たまげました!! 松山道を走り抜けて愛媛県の西予市の明浜へ。そこに通じるトンネルを抜けるとカーナビが示す道は折り重なり合ってグチャグチャ。ヘアピンにヘアピンの下り坂! 物凄い高低差! そしてそこに広がる太平洋につながる宇和海! 里山暮らしの私達には感動の時からまりました。おいしい海の幸の食べ事も!

でも、この美しい景色よりも感動したのが、その急傾斜に石垣の高さの方が畑の幅を越える(幅1m程度?) 段々畑!! 人間力の凄さに大感動! スイスの山頂につながる牧場や葡萄畑に感動したり、日本各地の棚田に感動していましたが、その段々畑は、それを遥かに越える物で、「これぞジオパーク!」。その段々畑づくりのために流された汗・汗・汗。汗の力は凄い!

そこで、全国からの参加者もあり、地元の人も沢山参加されているシンポジウムが開催されました。私は講演をするだけでなく、「倶楽部里山木族」の新しい代表の中村幸夫さんとエコストーブづくりもやらせてもらいました。

「志」のある人たちの集いでのおしゃべり(歌2曲)の手応えのある喜び! その志を具現する道具のエコストーブを伝える喜び! 70歳にしてこんなことが出来るなんて! 本当に感謝しています。いのちは切れても、想いをつないでくれる人がいればいのちは永遠...

出掛けるたびに、凄い人、いい人に出逢えます。「金よりも大切なものがある」の1つ。「いい人間関係」の入り口の「いい人との出逢い」が、この頃特に多く、私は幸せな人間と感謝しています。

「女のクセにとよく言われているでしょう」と問いかけた、パネラーの一人の山下由美さん。「向かい風の人生こそ生きる意味がある」と言われた樋口恵子さんのことばからレポートを始められました。「ピンチはチャンス、チャンスはチャレンジ」と叩かれても足引っ張りに会っても、前へ前へ。凄い! まさに我が同志!

「能登里山里海マイスター」をレポートされた能登学舎長の川島平一さん。原発阻止を進めるだけで終わるのではなく、原発に代わるものとして能登を活性化する人材を育てようとの挑戦。対案のある人。それを言うだけでなくやる人。私はそんな人が大好きです。反対や批判だけで何もやらない人ばかりのような気がするこの頃...

「大地と共に心を耕せ!」のテーマをかざしての地元の地域法人「無茶々園」のレポートは、代表の大津清次さん。40年近い歴史と実績を持たれる自信にあふれた、それでいて現状に満足されない取り組みに感動。「年金+少々」で安心して暮らせる老人施設の運営など、農業を核に、「ノートピア(百姓の理想郷)」づくりから地域づくりへ。世界へ。「百笑一輝」進行中。